



ブルックリン

1960年代、私は小学校1年生までをニューヨークで過ごしていました。ニューヨークというとドライな街をイメージする人も多いかもしれませんが、私が住んでいた下町ブルックリンは違って、もう3日もバナナを食べていました。町の八百屋には、夕方になると一人暮らしをしているおばあさんが、遠くから歩いてきて、いつもバナナを一本だけ買って帰ります。あれから、もう何十年経ちましたが、あの町の温かい心を持った人たち、幸せに暮らしているか、と心から願っています。

と話をのを楽しむにしているのでしょう。

そんなある日のこと、母とその八百屋に行くといつい店員が客の男と話をしていました。

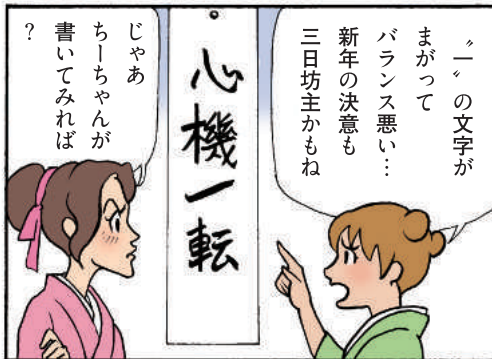
「お前の近くに住んでいるスーシーばあさんが、もう3日もバナナを食べていました。町の八百屋には、夕方になると一人暮らしをしているおばあさんが、遠くから歩いてきて、いつもバナナを一本だけ買って帰ります。あれから、もう何十年経ちましたが、あの町の温かい心を持った人たち、幸せに暮らしているか、と心から願っています。」

私のスナッポ

川邊 洋二 (北沢)

ほのぼの喫茶室【心機一転なるか!?!】

構成/菅乃廣 画/ながさわとろ



防衛省「市ヶ谷記念館」見学

日本橋・京橋税政連が共催で



11月16日京橋税政連は、日本橋税政連との共催で、防衛省「市ヶ谷記念館」の見学会を開催した。京橋16名日本橋8名の参加者であった。

集合後、確認手続きを経て正門から入場したところ、この見学会を手配いただいた辻清人衆議院議員(自民・東京2区)から挨拶があった。

平成12年5月に六本木から移転したこの市ヶ谷地区(市ヶ谷台)は、自然の地形では23区内で最も高台(標高31・4m)に位置し、先の大戦中は大本営陸軍部、陸軍省、参謀本部が置かれ、戦後は米軍に接収されるなど激動の歴史の中を歩んできた。先の移転に際して旧1号館の一部を残し、「市ヶ谷記念館」として再築されたものだ。大講

日本銀行見学会を実施

税理士による平沢勝栄後援会



「税理士による平沢勝栄後援会」主催による日本銀行見学会及び国政報告会が、10月29日に開催された。平沢議員の紹介により特別に40名の枠を設けて頂き、江戸川北支部7名・葛飾支部33名の会員が参加し、大盛況であった。当日は午後3時に日銀本館西門に集合した。会議室に通され、日銀の紹介ビデオを見、平沢議員による国政報告会だったが、急遽海外視察が入ったため、大石雅也後援会会長より報告と挨拶があった。最後に見学会に同行された平沢議員の植原秘書の挨拶後、散会した。

堂は、極東国際軍事裁判東京裁判の法廷としても使用され、床板を含めた殆どが当時のまま精緻に復元されている。また、昭和45年11月の「三島事件」、旧陸軍大臣室の扉に残る三島由紀夫の刀傷が印象に残った。見学会後、売店で自衛隊士産を買い、近くの居酒屋で和やかな懇親会の後、散会した。

バッジをつけた者どうしの仲間意識が支え合う力となります。



「日本税理士共済会」は今から62年前の昭和28年に西日本を襲った豪雨災害で被災した多くの税理士の救済をきっかけに、当時の日税連会長の提案によって日税連の中に厚生委員会を組織し、税理士とその家族、事務所職員を対象とする助け合いの相互扶助団体として発足し、その後「日本税理士共済会」として現在に至っております。

1月下旬にお届けする
共済会からのお知らせをご覧ください

詳細のお問合せ
お申込みは



日本税理士共済会

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番8号 日本税理士会館5F

TEL 03-5740-0321
FAX 03-5740-0323
e-mail:jim@zeirishikyosai.com

<http://www.zeirishikyosai.com>

税理士共済会

検索